

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) リンテックス株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒712-8006 岡山県倉敷市連島町鶴新田2670番地
----	---------------------------	----	--

本票作成	部署名：生産技術グループ
------	--------------

主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要	製造業、自動車用車輪・農業機械用車輪・産業車輛用車輪の製造 従業員：180人
-------	--

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	本社・岡山工場	岡山県倉敷市連島町鶴新田2670番地

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 29 )年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	8,630 t CO <sub>2</sub>	8,216 t CO <sub>2</sub>	8,216 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 29 )年度排出量
	①	本社・岡山工場	8,216 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 ( 5 箇年度)		
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 29 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	15.2 %	4.8 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容  生産数量	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 29 ) 年度	目標年度
		2.031 kg CO <sub>2</sub> /(千個)	1.723 kgCO <sub>2</sub> /(千個)	1.934 kgCO <sub>2</sub> /(千個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 29 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・マネジメントレビュー会議において、取組内容の実績報告を実施(2回/年)
- ・経営トップ直轄によるコスト1%削減活動の報告及びフォローを実施(1回/月)
- ・昼夜勤における、ライン停止時の冷却水ポンプ停止及びコンプレッサー・照明・空調機の運転の管理を行った。
- ・LED照明や高効率チリングユニット・コンプレッサーの一部更新を行った。
- ・空圧機器のエアリークについての対応を行った。

**【推進体制】**

- ・ I S O 1 4 0 0 1 に基づいた環境マネジメント活動プログラムにより、電気・燃料の削減を目標に環境改善を推進した。
- ・ コスト 1 %削減活動における生産性向上・不良率低減を推進した。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(29年度実施分)</p> <p>①昼夜勤での昼休憩時間帯及び終業後での冷却水ポンプの停止による電力使用量の削減を実施。</p> <p>②コスト 1 %削減活動による不良率低減・故障時間削減・空圧機器のエアークレジットの発見・修理によってコンプレッサー使用率低減の実施。</p> <p>③空冷式チリングユニットへの更新を実施。</p> <p>④高効率コンプレッサーへの更新を実施。</p> <p>⑤適切な出力のコンプレッサーを導入 (22KW→3.7KW)</p> <p>(今後実施予定分)</p> <p>①昼夜勤での昼休憩時間帯及び終業後での冷却水ポンプの停止による電力使用量の削減を実施。</p> <p>②コスト 1 %削減活動による不良率低減・故障時間削減・空圧機器のエアークレジットの発見・修理によってコンプレッサー使用率低減の実施。</p> <p>③高効率コンプレッサーへの順次更新を予定。</p> <p>④非定位置作業場の、冷房空調機からスポットクーラーに切替予定。</p> <p>⑤照明器具のLED化を順次予定。</p>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--